

豊田市テニス協会10周年記念事業

# テニスフェスティバル'91

12月14日

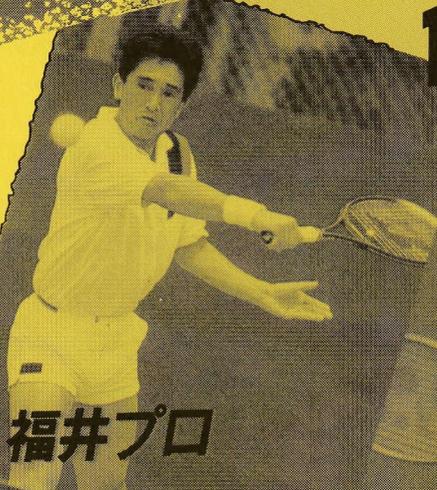
## トッププロ来たる!

福井 烈 (ブリヂストン)

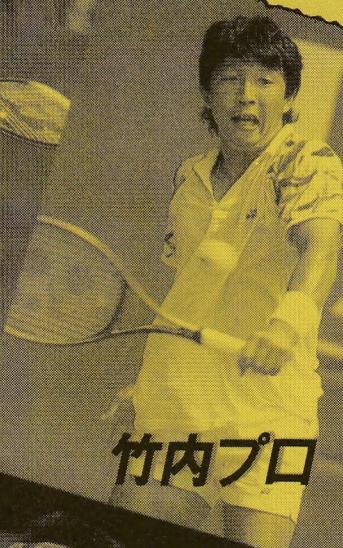
竹内 映二 (ヨネックス)

右近 憲三 (ロイヤルSC・TC)

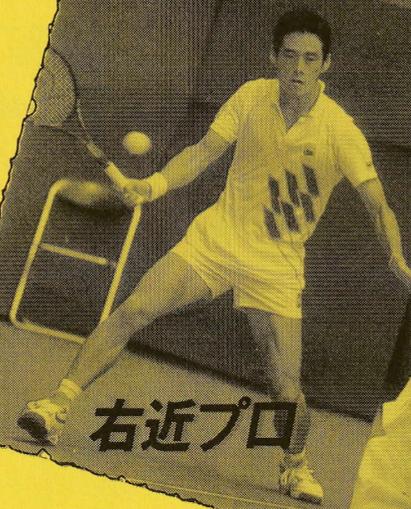
田中 信弥 (フリー)



福井プロ



竹内プロ



右近プロ



田中プロ

日時 平成3年12月14日(土) 1:00PM.~5:00PM.

会場 豊田市体育館 入場無料

問合せ ☎ (0565) 31-0451 豊田市体育館

主催/豊田市テニス協会

後援/豊田市・豊田市教育委員会・(財)豊田市体育協会・愛知県テニス協会・中日新聞社

協賛/(株)ダンロップテニス

## スケジュール

- I 13:00 開会式
- II 13:25 エキジビションマッチ  
(ダブルス 1セットマッチ)  
福井 烈(ブリヂストン) VS 竹内 映二(ヨネックス)  
田中 信弥(フリー) 右近 憲三(ロイヤルSC・TC)
- III 14:25 ザ 挑戦  
(アマ・プロ対戦コーナー)
- IV 15:10 抽選会
- V 15:30 テニスクリニック  
(プロによるワンポイントレッスン)
- VI 16:30 閉会式

## 選手紹介

### 福井 烈

(TSUYOSHI FUKUI)

ブリヂストン

- ※ 全日本選手権 単7回優勝
- デ杯代表 10回

無類のコントロールを誇るストロークが武器。すべてのフォームが美しく、コートマナーとともに全プレーヤーのお手本である。

### 右近 憲三

(KENZO UKON)

ロイヤルSCテニスクラブ

- ※ '91八ヶ岳カップ 単優勝
- '91全日本室内 複準優勝
- '91群馬オープン 複準優勝

バネのきいた柔らかいテニスが持ち前のオールラウンドプレーヤー、元学生チャンピオンである。

### 竹内 映二

(EIJI TAKEUCHI)

ヨネックス

- ※ デ杯代表 5回
- '91NST杯プロ 単準優勝
- '91関西選手権 複優勝
- '91八ヶ岳カップ 複優勝

サウスポーから繰り出す角度のついた鋭いサーブと絶妙なパッシングショットを武器とするプレーヤー。

### 田中 信弥

(SHINYA TANAKA)

フリー

- ※ '89全日本選手権 複ベスト4
- '91沖縄オープン 単ベスト4

スピンの効いたストロークを武器に、足の速さを生かして頭脳的プレーを展開する、地元愛知県出身のプレーヤーである。

## 豊田市テニス協会の歩み

硬式テニスが「貴族のスポーツ」と言われていた昭和30年代後半、第一次テニスブームが起きたが、本市ではトヨタ自動車テニス部が国体や東海地区等で活躍していたものの、まだまだ一般市民のスポーツとしては馴染みが薄かった。昭和40年代に入ると、旭硝子、荒川車体(現アラコ)、住友ゴム等の企業チームと豊田ローン、トヨタグリーンといったクラブチームがいち早くテニスの楽しさに注目し、活動を開始した。昭和50年代に入り、第二次テニスブームが到来したのを契機に、行政も市民スポーツの振興の一環として、テニス教室を開催するようになった。また一方で企業チームとクラブチームの交流試合等が積極的に行われるようになった。昭和50年代後半になって市民のテニスに対する熱はますます加熱し、「貴族のスポーツ」は一気に「庶民のスポーツ」、「若者必須のスポーツ」へと移行していった。

- こうした周囲を取り巻く状況の中、前述の企業チーム、クラブチームのメンバーの一部が中心となり協会設立の準備を進め、昭和56年4月スポーツの振興に理解のある市議会議員太田三郎氏を会長に迎え協会を設立し、翌年の4月に(財)豊田市体育協会に加盟した。設立当時350人であった会員も2年後には1,500人へと驚異的に増加し、昭和62年度以降は2,000人を超えるまでになった。

## テニスの見どころとマナー

テニスもスポーツであるかぎり他のスポーツと多くの共通点を持っている。しかし、またテニス特有とも言うべき点も多い。競技である以上、精神力が必要なことは言うまでもなく、競技者の実力に大きい差がある場合は論外であるが、実力が接近している場合には勝敗はボールを打つ技術のみでは決まらない。また、長時間間断なくコートを動き回る体力が必要である。テニス競技は一旦プレーが宣せられると競技を中断することはできないので、競技中に外部から援助を受ける機会はなく、競技者自身の責任において試合を行わなければならない。

したがって、観客は競技者がこれらの能力を発揮することを外部から妨げるような行為は厳に慎まなければならない。みだりに大声を発したり、やじったり、相手の失敗に拍手を送ったりしてはならない。ファインプレーには敵味方の区別なく拍手を送り、選手の持っている能力が発揮できるような雰囲気を作り出すのが観客のマナーであり、またテニスの伝統でもある。